

「閉経後女性における下部尿路症状と身体・精神機能との関連」 に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究は実施承認日から2020年3月31日の期間に開催された東郷町健診において協力を得られた方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

＜目的＞

閉経後女性における下部尿路症状と身体機能との関連について研究され始めていますが十分には解明されていません。そこで、本研究は下部尿路症状と身体、精神、認知機能との関連について詳細に明らかにすることを目的としています。本研究の結果から下部尿路症状のある患者さんに対する適切な治療方法を提案できる可能性があります。

＜方法＞

本研究は名古屋大学・東郷町の共同研究である健診事業に参加し、研究の協力が得られた方を対象として尿失禁症状や身体・精神機能を評価しています。まず対象者の方には尿失禁症状に関するいくつかの質問に答えて頂きます。また名古屋大学・東郷町の共同研究である健診事業で実施するいくつかの身体機能の検査や認知機能検査を実施して頂きます。また姿勢を評価するため、薄着になって頂き、スパイナルマウスという機械を用いて脊柱の弯曲角度を測定し、反り腰や猫背の程度を評価致します。姿勢の測定は研究分担者が行います。

＜研究期間＞

実施承認日から2020年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

評価項目は、対象者の方に回答して頂く尿失禁症状・QOL質問票（ICIQ-SF）、過活動膀胱症状スコア（OABSS）、出産回数、出産形式、初産年齢、また認知機能、骨密度、筋力、筋量、ロコモ度判定、起立・歩行の評価および脊柱弯曲角度の測定などとなります。

4. 外部への試料・情報の提供

研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。職を退いた後も同様です。

研究対象者の個人情報（氏名・住所・電話番号など）を記載せず、当該実施研究機関外の者が研究対象者を特定できないようにします。研究に用いるカルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって患者様の個人情

報が他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野

教授 杉浦英志

助教 野蔭一平 井上倫恵

博士課程（前期課程） 井口咲希

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：

〔組織名〕名古屋大学医学部保健学科 事務統括課 庶務係（大幸キャンパス）

電話：052-719-1504